

社会教育推進大会・協働教育研修会

開催要項

1 趣 旨

社会がますます複雑多様化し、子どもを取り巻く環境も大きく変化する今日、予測困難な社会の変化にしなやかに対応し、たくましく生きぬいていく子どもたちを地域全体で育てていかなければならない。協働の取組が今こそ必要とされている。

そこで、子供たちの豊かな心を育む教育について、学校・家庭・地域社会の関係者が幅広く意見交換を行い、協働のあり方について参加者とともに考え、それぞれの教育機能の活性化と学校教育の更なる充実を目指す。

2 主 題 『子供の豊かな心を育む学校・家庭・地域社会の協働のあり方』

3 主 催 宮城県教育委員会
宮城県社会教育協会大河原支部

4 主 管 大河原教育事務所

5 共 催 角田市教育委員会
角田市PTA連合会（事務局 桜小）
管内社会教育委員連絡協議会（事務局 大河原町）
仙南公民館連絡協議会（事務局 柴田町槻木生涯学習センター）
大河原地区社会教育主事研究協議会

6 後 援 白石市教育委員会 蔵王町教育委員会 七ヶ宿町教育委員会
大河原町教育委員会 村田町教育委員会 柴田町教育委員会
川崎町教育委員会 丸森町教育委員会
仙南地域広域行政事務組合教育委員会
角田市校長会 大河原管内郡市町PTA連絡協議会（事務局 舘矢間小）
仙南地区子ども会育成会連絡協議会（事務局 白石市）

7 日 時 令和5年12月9日（土） 午前9時開会
（受付8時30分から）
（閉会予定11時40分）

8 会 場 かくだ田園ホール （角田市角田牛館10）
Tel 0224-63-2221
Fax 0224-63-5633

9 参加者 管内小・中学校教職員・PTA会員 管内教育委員会関係職員
各市町幼稚園・保育所・児童館職員及び保護者 家庭教育支援チーム員
宮城県社会教育協会大河原支部会員
管内各市町社会教育委員 管内公民館等職員・関係者
大河原地区社会教育主事研究協議会員 管内青少年育成関係者
仙南地区子ども会育成会員 管内社会教育団体関係者

10 日程・内容

	内 容
受付 8:30～ 9:00	一般・来賓受付 資料等配布
開会行事 9:00～ 9:20	(1) 開会のあいさつ 大河原教育事務所 所長 本田 史郎 (2) 祝 辞 角田市長 黒須 貫 殿 (3) 来賓・役員等紹介 (4) 日程説明
講演会 9:20～ 10:10 【休憩 20分】	(1) 講師紹介 (2) 講 演 演 題『未来をつくる協働とは ～子どもたちへ意欲と創造性を～』 講 師 認定NPO法人 カタリバ 全国高校生マイプロジェクト全国事務局 鈴木 胡美 氏
研究討議 10:30～ 11:30	主題 「子供の豊かな心を育む学校・家庭・地域社会の協働のあり方」 ◇コーディネーター 角田市教育委員会生涯学習課 主査（社会教育主事） 佐藤 克宏 氏 ◇話題提供者 家庭教育：角田市教育委員会生涯学習課 生涯学習係長（社会教育主事） 辻 琴江 氏 角田市家庭教育支援チーム 大内さみ子 氏 地域活動：宮城県文化財保護指導員・角田市文化財保護員 小野 貴嗣 氏 角田市立金津小学校 教諭（地域連携担当主任） 三代 和正 氏 学校教育：宮城県角田高等学校 校長 井上 健一 氏
閉会行事 11:30～ 11:40	(1) 閉会のあいさつ 宮城県社会教育協会大河原支部 支部長 横塚 正己 (2) 諸連絡



当日は、220名の参加者が集まり、協働教育の現状と今後の可能性について具体的な話に耳を傾けました。講師の鈴木氏のお話から、特に高校生の学びや活動の広がりには、家庭教育、小中学校での学習との連続性が重要であることを学ばせていただきました。また、パネルディスカッションでは、これまでの取組を基にした事例発表や討議が行われ、様々な立場の人が連携して取り組む地域学校協働活動の重要性が再確認できました。今後もより一層、学校・家庭・地域社会が協働して子供を育てる仕組みづくりを行って参ります。

次年度は村田町を会場に社会教育推進大会・協働教育研修会が開催される予定です。